

学年通信

平成26年1月24日 第35号



「障害について考える」

現代社会においては、バリアフリーやユニバーサルデザインという障害者と共に生きる考え方が定着してきています。しかし、障害について知っていることは非常に乏しいということも現実です。これからの人生において、みなさんが多くの人と接しながら学んでいけるように、障害を学ぶ交流体験を実施します。

来週から3回に分けて、NPO法人アイ・キャンのご指導のもと行われる交流体験のおもな内容は、次の2つです。

＜障害理解の学習＞障害は分からないから接することができない。同じ立場に立つことで、その後の自発的なアプローチが期待できる。視覚障害や発達障害などの疑似体験や介護体験を行い、障害についての理解を深めます。

＜交流体験＞障害を持つ方々と協力し、就労の作業を体験します。実際に農場で収穫されたものに触れることで、農から食にいたる過程やつながりを感じることのできる貴重な機会となります。



来週の予定

○印は授業 ●印は行事等

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
27日 (月) A	○	○	○	○	○	△
	□部休日		□給油日(清掃時)		＜整理と対策【数学9】＞	
28日 (火) A	○	○	○	○	○	○総合
	□修学旅行班別自主研修計画作成(6校時)		＜整理と対策【英語9】＞			
29日 (水) A	○	○	○	○	○	○
	＜整理と対策【理科9】＞					
30日 (木) A	○	○	○	○	○	○
	□給油日(清掃時)		＜整理と対策【社会9】＞			
31日 (金) B	○	○	○	○	○	○総合
	□修学旅行班別自主研修計画作成(6校時)		□障害を学ぶ交流体験・育成プログラム(5組/6組)		＜整理と対策【国語10】＞	

「新しい東北」先導モデル事業

障害を学ぶ交流体験・育成プログラム

1. 事業の目的

今あらためて自然との調和、世代や障害を越えて共に学び合いながら生きる力を育み合い、共生できる地域社会が求められています。

生きる基盤である地域の特性を愛しみながら心豊かに人々が暮らし、世代・障害を越えて互いの存在を受け止め合い、支え合える社会づくりへの寄与を目的にKふぁーむは生まれました。

この恵み豊かなKふぁーむという農場で、子どもたちが様々な事を学び、障害を越えてあらゆる人が共生できるような、新たな社会を創っていく力を育みたいと考えます。

2. 実施場所

「Kふぁーむ」「しらすわ有寿園」

〒969-1205 福島県本宮市和田字戸ノ内311

3. 事務局

「特定非営利活動法人アイ・キャン」

※「共生社会モデルを実践する農場での子ども育成プログラムの推進」が、復興庁から「新しい東北」先導モデル事業として認定されました。

4. 実施日

1/31(金)＜5組+6組＞ 2/ 4(火)＜1組+4組＞

2/ 6(木)＜2組+3組＞

5. 活動の流れ

14:00～14:30 障害理解の学習、自分らしさを持つことの重要性

14:30～14:40 疑似体験(有寿園にある疑似体験セットを使用)

14:40～15:00 農場見学(Kふぁーむ)

15:00～16:00 ピアサポーターとの交流、ハンバーガー作り&試食

6. その他の注意点

○目に見えない障害もあります。いろいろな障害に対してどのように対応すべきかを考えながら参加しましょう。バスの中でも大切なお話があります。よく聴いて、積極的に活動しましょう。

○防寒対策をしっかりと行い、体調管理に気をつけましょう。

○バスの乗降に際しては、クラス毎に奥からつめて速やかに行動しましょう。



2月のおもな行事予定



3日(月) お弁当の日、生徒会専門委員会

4日(火) 障害を学ぶ交流体験(1組/4組)

6日(木) 障害を学ぶ交流体験(2組/3組)

8日(土) インターンシップ体験発表会

11日(火) 建国記念の日

13日(木) 新入生保護者説明会

16日(日) テスト前部活動中止～19日

17日(月) PTA授業参観、学年・学級懇談会

18日(火) 養護学校交流会

19日(水) 定期テスト1日目

20日(木) 定期テスト2日目

21日(金) 卒業式練習

PTA実行委員会

26日(水) 生徒会総会

27日(木) 卒業式練習

28日(金) 卒業式練習